

# 令和5年度地域と市長のまちづくり懇談会 松葉校区

開催年度回次	令和5年度第4回	開催月日	8月20日	開催校区	松葉校区	開催場所	松葉校区市民館
議 題				市の回答			
<p><b>1 大雨による冠水・浸水被害とその対策について</b></p> <p>(1) 6月2・3日の大雨により、豊橋市内では多くの地区で冠水・浸水による被害が出ました。松葉校区でも、北島町、南島町、絹田町、船町では、道路等が冠水し、通行に危険な箇所もありました。今まで時々冠水してきた箇所もあります。市としてこの状況をどう捉えていますか。また、冠水・浸水の被害を防ぐ市の対策、地域(自治会)の対応について教えてください。</p> <p>(2) 6月2日は、大雨による冠水のため、絹田アンダーパスが通行止めになりました。これにより、周辺の道路がたいへん混雑し、道路周辺住民はたいへん心配したようです。また、他地区の冠水の影響で、3日まで渋滞した道路もありました。南島の歩行者専用アンダーパスも通行止めとなり、大きく迂回した歩行者もいました。冠水被害を防ぐためにも通行止めは当然ですが、通行止めをした後の的確な対応や指示が重要だと考えます。</p>				<p>(1) <b>下水道整備課</b></p> <p>松葉校区内の雨水は、道路側溝などを通じて集水され、下水道管を通過して豊川へ、直接または野田処理場内のポンプ場を経由して排出されます。6月2・3日の24時間雨量は、本市の観測史上最多の418mmを記録しており、下水道で雨水を計画的に排除する雨量を大幅に超えたことにより、道路冠水や浸水被害が発生したものと捉えています。</p> <p>冠水・浸水被害を防ぐ市の対策としては、現在の下水道管を補う管の整備や、雨水を一時的に留める雨水調整池を設けることなどが考えられます。これらの対策には、設置場所の確保や容量・工法の検証に時間を要しますが、市として総合的に検証してまいりたいと考えます。</p> <p>地域の対応としては、雨水が適切に流れるように常日頃から道路側溝などの清掃の実施、さらには「内水ハザードマップ」などを参考に、大雨の際の危険箇所を事前に把握するとともに、避難経路を事前に確認しておくことが有効です。</p> <p>(2) <b>道路維持課</b></p> <p>線状降水帯や「ゲリラ豪雨」により、道路及びアンダーパス部分の冠水が想定されるとき、通行者の安全確保の観点から道路巡視の実施、場合によっては通行止めなどの措置を行っています。</p> <p>国道や県道などの主要道路が通行止めとなると迂回路となる周辺の道路が混雑してしまうことは避けられません。</p> <p>今後も国や愛知県と情報共有し、通行規制や解除について情報提供に努めてまいります。</p>			

開催年度回次	令和5年度第4回	開催月日	8月20日	開催校区	松葉校区	開催場所	松葉校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1 大雨による冠水・浸水被害とその対策について</p> <p>(3) 6月2日15時過ぎに、豊川・豊川放水路沿いの地域に避難指示が出され、避難所(松葉校区市民館)が開設されました。8日も避難所が開設されました。避難所開設情報について、校区自治会長は豊橋ほっとメールで確認する段取りになっていますので確認できましたが、その後の避難所開設のときの自治会の役割を教えてください。</p> <p>また、避難指示・避難所開設を知らなかった住民も多かったようです。道路が冠水して初めて状況が分かったと言っていました。現時点では情報伝達が十分ではありません。今後どのような対策を考えていますか。</p>				<p>(3) 防災危機管理課</p> <p>災害時には、自治会の皆さまは、必要に応じて避難所に設置してあるマニュアルや資機材を活用し、避難所を開設・運営することになっています。</p> <p>情報伝達につきましては、テレビ、ラジオの他に、豊橋ほっとメールをはじめ、同報系防災行政無線や市の防災ラジオ、SNSなどの複数手段で情報発信しており、スマートフォンの防災アプリでも情報を確認することができます。</p> <p>引き続き、一層の周知・啓発に努めてまいります。災害時に自分の命を守るため、校区の皆様も日頃から情報収集する手段を確認していただくようお願いいたします。</p>			

開催年度回次	令和5年度第4回	開催月日	8月20日	開催校区	松葉校区	開催場所	松葉校区市民館
議 題				市の回答			
<p><b>2 小学校プールの取り壊しと跡地利用、小中学校の環境整備について</b></p> <p>(1) プールの取り壊しと跡地利用については、昨年度のまちづくり懇談会で要望し、「検討を進めていきたい」との回答がありました。しかし、その後どのように検討し計画しているか説明がありません。また老朽化が進んでいる校区市民館の新築移転についても要望しましたが、「土砂災害警戒区域に近づいてしまうので、現実的な選択ではない」との回答でした。懇談後、「市民館の新設位置を、プール跡地内のできるだけ北側にすればよいのではないか」という意見が、参加者から多く出ました。</p> <p>松葉校区としては、小学校プールの早急な取り壊し、跡地の有効な利用、市民館の新築移転を改めて要望します。</p> <p>(2) 学校選択制と集合住宅建設により、小中学校の児童生徒数が増加しています。教室数に余裕がなく、学習活動に影響を及ぼしています。それ以外にもいろいろな問題があるようです。児童生徒の学習環境、生活環境の改善に向けて、小学校、中学校のそれぞれの要望をよく聞き、適正に対応していただくことを願います。</p>				<p>(1) <b>教育政策課、市民協働推進課</b></p> <p>校区市民館の新築移転の要望について、できるだけ北側に場所を移したとしても土砂災害警戒区域の直下であり危険なことに変わりないことから現実的な選択ではないと考えております。</p> <p>本市では、公共施設の最適化を図るため、人口の変化や利用の変化による公共施設のあり方や必要性の整理を行っております。また、施設の老朽化や時代のニーズに対応するために、予防保全工事や改良保全工事を実施し、引き続き既存施設を活用することとしています。現時点では、校区市民館においても、予防保全工事や改良保全工事により現在の建物を長寿命化する方針です。</p> <p>また、小学校20校で民間プールを活用した授業のモデル実施を行っており、民間プール施設の稼働状況などを踏まえた上で、実施校の拡大とプール跡地の利用については検討していく必要があります。その際には、学校や地域にとって有効な活用方法を検討していきます。</p> <p>(2) <b>教育政策課</b></p> <p>学校選択制を加味した児童生徒数の推移では、今後、子どもたちの人数は現状より少なくなる見込みです。しかしながら、集合住宅の建設などによる社会増もありますので、子どもたちの良好な学習環境が確保できるよう、今後の児童生徒数の推移に注視していきます。</p>			